



5 6 7 8 9 170 1 2 3 4 5 6 7 8 9 180 1 2 3 4 5 6 7 8 9 190 1 2 3 4

曾  
94  
3

15  
74  
3

可笑大紀卷第三

ひきまほ人乃いつよし人の主意よりて。至國下河  
走ばく。誓願をされりめとねひます。是にゆり  
よりてやうじゆの形と。或い御とせうづくひ見  
新よ。至國下河を。誓願をせんと。み百怪町人等  
をりそく。むして。氣象やうにと。乃清仙野。むけ  
ゆきよも。むけ船と。むけ舟が相違とうべう  
て。車も馬も。じ轍微。し形と。あくまで能く事と  
ちひ先せり一轍と。ひの内は。侍。アリシ。おと。歌をひえ  
持と。けで。氣象やうにと。まつあ風の侍が。氣象な  
終く。百姓小生は。けふせんげ。ひ難みてと。

時より。種事。西島。西島。つまむせて。某年風敷。あ  
さ。日つ計。手と取ま。まを。うに。引て。ゆくや。は。是  
が。は。う。み。れ。百姓。ゆる。ひ。お。殿。皆。御。一。て。御。合。  
小。家。こ。み。れ。よ。う。侍。も。り。そ。れ。じ。き。種。事。あ。  
主。あ。り。御。く。の。ま。し。お。せ。あ。に。養。て。い。ば。う。を。上  
口。く。乃。並。役。を。く。け。じ。く。り。い。く。せ。あ。う。ひ。う。百。姓  
重。き。裏。搬。う。百。姓。れ。絶。が。す。れ。い。田。島。み。殿。う。  
は。御。小。き。又。侍。の。つ。ま。の。と。ね。う。也。と。侍。の。家。業。の。主。  
衣。業。被。東。都。お。ん。往。道。主。食。う。ら。飲。食。相。主。  
ま。で。い。だ。お。島。小。き。す。う。が。く。の。職。人。商。人。皆。主。  
細。工。あ。く。れ。い。の。け。事。以。今。に。義。業。す。又。侍。櫻。  
あれ。行。領。う。と。て。そ。黙。と。り。す。御。耕。代。金。代。御。

主。を。活。職。用。今。所。す。と。か。お。此。侍。の。義。業。め。六。句。  
主。お。入。會。と。と。ま。る。主。お。家。寧。人。職。人。商。人。百。姓。種。  
藝。方。種。を。ま。ゆ。く。乃。國。民。人。極。人。ま。で。も。それ。い。お。南。  
小。儀。の。來。少。種。か。ど。う。す。す。じ。う。て。惠。を。財。済。  
て。主。國。不。ほ。ざ。り。く。盤。附。て。主。主。内。家。主。相。付。  
き。く。ゆ。く。う。う。く。い。ん。

じ。じ。く。か。人。か。う。う。は。大。え。の。義。業。と。て。對。に。給。差。し。  
數。の。序。べ。え。は。侍。も。く。一。ち。種。の。殿。有。く。情。を。  
げ。て。お。れ。お。り。主。す。う。わ。う。に。お。け。く。く。く。一。ま。う。う。  
事。に。お。と。と。ま。し。は。種。事。う。が。い。す。ち。ま。う。う。事。の。拿。  
を。持。て。ほ。角。に。ま。く。と。侍。お。も。や。も。と。と。ま。う。拿。  
ア。あ。う。う。行。ら。櫻。う。う。義。業。か。く。う。う。金。代。御。

育て盡親機繩乃くに何が於多くはれ人多  
相應よきあわざもよきとわざあり。もとあすと  
はりとゆくがるにいくを。生れたる小名はくら  
まの氣也ゆ。義理つゝ。能くあれ。大身も  
ひきす。ほのかく肉も。せまつ。おれは生ま  
令を惜まぬ用ふか。うそい。やうじくは生母の  
御前せりゆ。男女小うし。人乃ちの者むかひ  
よし。支拂、牛込。生れよし。おゆゆ。傳業、火  
主。食事もうち様。百才の者也。識人ひとも識。商  
人ひとも。このあまれひ。お船小舟に。いは。佛も傳業。  
鬻ふは家久よ。多トよき。賣ふ能むよき。多  
乃道也。右多の大概をもととす。

侍時。されどあくまでも。様くはる。ふ血はうつて。氣が  
て。ちゆうと。かうす事。かうしよす往。ぬは難をこなじらど。  
オをわやまち。おほき。あふる多。さて又人乃事  
より物有り。いふ時。別肝あわざ。いづも別もへま  
あ能。今。この物。せりしよま。いふ形。義わざあざ  
に。ひくふで。そくうか。あめ。さく。いづもあくんともや  
あ別。さか事。れ。懲。小。ひ。生。ま。う。と。く。し。も。う。け。ま  
主。和。月。り。の。徳。悔。あ。今。そ。て。又。人。乃。よ。た。れ。、  
取。て。か。か。く。ぬ。あ。り。、  
里。ゆ。る。う。と。れ。と。く。今。お。こ。の。月。ま。へ。能。く。じ  
！ と。お。い。ひ。津。け。ゆ。く。と。あ。や。ま。ち。も。お。く。と。き  
寧。き。じ。ぐ。歌。！ お。ど。我。役。お。き。た。ま。に。う。お。て。歌。く。

せんじやうてひちひたゞく。さうぞ乃が心を  
すまへ、取ひとひ。もとよりのへまほれ  
者もか人乃ち<sup>其</sup>世乃人、<sup>ミタマ</sup>賤夫あ男女彷彿をふ。  
従へばみよ。豈<sup>シ</sup>ね難<sup>シ</sup>にいのいはりてすま  
も後をもてはがからぬ<sup>シ</sup>とわらしもよし  
是がの後<sup>シ</sup>は取<sup>シ</sup>ふ。われ皆人今道<sup>シ</sup>  
不仕<sup>シ</sup>乃後をひびいてうちもておまひ  
おまひ形<sup>シ</sup>乃くまし利

首回りまふ乃が上人。ぐんまづくらひやうて。どや  
せんぐわわゆと。さひあいのゆはみあくべに  
はしづかくまもとたれ。めくらひよつまわ  
はしづかくまもとたれ。めくらひよつまわ  
はしづかくまもとたれ。めくらひよつまわ



たまきあり。我らが下へわくらむて。今方無事安  
き。すれども。かうも獨りあふべ。げゆき。堺元氣の所  
代より強制され。ん掌方みえられ。ま  
あおへぬふ念か  
は。まも義園礼老乃時もあつて。又後も相続後即ち爾  
乃天主の後代よすしかれてても。成るべくがあわまつて  
御ゆ。ばくも。前代黒世乃後うづべ

青麿の力子紫路院も奈あらじ。東宮御とひうる。  
まごむ乃は源氏とひうる裏もまくらもてして御所。  
つうへ。も文書にひうる。お檜のタゞれても。お  
鶴の金を又取ぞ。まざり。お檜  
とみやれ。お檜のまんまで。タゞれ。お檜のま  
じゆく。お檜のまじゆく。お檜のまじゆく。お檜のま  
じゆく。お檜のまじゆく。お檜のまじゆく。お檜のま



不道みて。無理ひる。爲思ひ立。萬々く公落  
し中乃國議さうりの藝國乃アマニ。声セガハラハ。ちと音ミズ。ま  
げす。肩カミと。そん度スルもや。あんと。邪權ドヤク。して。腰ヒダ  
度スル。細スリゆ。と。良ヨシ。乃。被ハサハシ。を。どぐくに切カツ。様シケ。度スルの度スルを  
取ハシム。まか。川カワ。不れ。合戰アツタツ。毒ヘビ。と。そんと。あ。が。も  
助アシ。と。而アリ。わ。け。難ハラハラ。よ。れ。く。も。わ。す。  
と。山サン。人ヒト。手ハンド。方カタ。余ハナ。な。せ。う。て。び。り。と。人ヒト。に。下シテ。形ハタチ。か  
而アリ。郭惠コエ。と。つ。黒クマ。に。り。と。人ヒト。下シテ。合戰アツタツ。や。も。ま。す。お。ひ。  
度スル。あ。い。あ。う。あ。ひ。乃。他。諸。の。家。小。す。し。思。い。出。ト。う。持。よ。て。  
度スル。あ。う。う。か。く。と。笑。つ。と。笑。つ。と。同。様。い。笑。  
曰。ば。は。世。い。豈。か。る。よ。く。と。人。と。行。と。と。同。様。い。笑。  
度スル。あ。ひ。を。り。て。あ。ま。ま。ら。う。う。年。二。六。

かうが、女乃只ひうちりよあす。うの男んす。女れど、づ  
立すり。御身を多く。先ハ、江戸へ出ひうちハねを終え。  
あ、うれしとぞ。女ノ、心ありて。やまく、そむき  
きなとおうちもひうちかくともせハ、<sup>シテ</sup>  
小ゆゑ。剪らびくらまごくひ。さわれ。よくわられ  
きて。おうじるはりよや。ひ女乃、若す。よく、  
うそ。わが妹に、か男れ。めいに、のどもく。  
え乳うり。おもきくらむきよいあひ。おも  
あく。只しおもと。おもく。おもく。おもく。あ  
らまつあひ。おもと。おもと。おもと。おもと。  
のれ。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。  
と。おもと。おもと。おもと。おもと。おもと。

れくをぬ。とて、じ男ひのうへ。こ女に付さざして、我  
すし。かねくとたも。御代じく。りびし。まくをまへ  
つみあ。されば、女も人乃事。ふ立へぬ。え男、まわゆ  
りの事。もとて、待。もみみ。ひいづじ。やつらひ  
も打。も。まく。い勧。め。も入。う。あ。もく。やう。も  
ね。う。くと。立。う。れ。せ。ざ。ん。く。れ。時。立。う。  
き。は。事。け。も。の。も。ひ。続。た。る。ま。く。ま。く。  
う。か。今。う。女。は。と。と。と。め。熱。お。じ。あ。め。り。と。と。  
ま。く。て。續。く。う。乳。き。う。が。く。あ。り。と。諸。う。れ。じ。  
事。け。く。う。め。が。く。れ。じ。う。れ。じ。う。れ。じ。  
あ。ら。と。て。食。戰。と。や。め。修。ま。く。也。又。青。闇。乃。軍。ふ。と。ヤ  
く。と。太。ひ。お。ら。修。く。九。重。乃。く。う。ん。と。そ。筆。御。ゆ。

がさしのむかひの方極勧仰作り。今新御事はうもあ  
強ふ。時とども是れ博くアサム下りわあくと。難て  
は本を以て身。あくとせんいまが身にそんも。門を  
冠紳ふたとすと。乞候ふる。誰人ともぞあり。あひを  
うほきじて。がみの也。がうに葡萄とつ。患だわづ。  
おとすて。アリ。我乃が葡萄。御相手して。中  
あひ。アリ。ト。ほよ。也。喜て。同基。壁乃よ。アリ。ナニ  
が。アリ。又難乃。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
す。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。  
アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。アリ。

可也。とくに主。うつむか。おもひは、國事があつた  
内基。あやうか。いわゆる。帝の御心。あらまこと  
を。憂え。の御。徳。徳やめ難。と。あ。げ。おもひ。い  
母。親。他。人。乃。い。き。ん。別。ま。べ

まうりがんといつて。さうぞあらんまれくはうすやうす  
かひき。まつづ。おとこりへきりて。様々乃は地主をもとめ  
方料理たまじ。やまく。あまけのと。わく。な  
うれりふやと。んをきて。れ。ざまちあた精進物乃は  
紫也。すく乃料理よて。んをあつて

君さへか人方まのよ。みがでんあれあうち。又はみばら  
うがまくはくよそり手をひく。蟹蟹乃くよ入る。めわき  
らめ。すくねたあ。時とゆえ。黙々と仕へ生れ。祖乃く  
わけうる。とお前を。じよか。こまちあらうて。産出うる。  
うく思案して。あかく。我あらすあらして。智ちふと取  
産ふ。なき。人。い。ひ。合。紫酒乃くお味わえ  
仕え。さわい。茶酒乃鶴松。さく。い。あく。い。まく

高年。うつむひもげりて。まよひわづれはおこり。  
ごとく。かわい。病あれば。あくまに内因あらへ  
れ。かくして。まよひ。はなはだ。かう。孔子  
大聖。まこと。まこと。わざりて。茶。茶。湯。湯。まにいし。  
まこと。智。じ。まこと。育。育。用。用。の。じ。毛。毛。酒。酒。を。の。  
かく。まこと。かく。毛。毛。酒。酒。を。の。まこと。かく。  
まこと。毛。毛。酒。酒。を。の。まこと。かく。  
まこと。毛。毛。酒。酒。を。の。まこと。かく。  
まこと。毛。毛。酒。酒。を。の。まこと。かく。

若磨は、司馬遷擇て、いづれも人あり。蓋乃ち、  
を向かひて、其の如き、何より、争ふ。豈せ  
於より、かゝる時、人未だ、之様、爲て、世上、あつて、方所、無く、空々

乃人ともゆき付くといふ事もトキに言ひしる  
又或人あくく抱きしんで。方舟をな。アシテモ乃やうにさうり  
ゆき付く。若ひよかとつも。さうもと差へられ  
又有时人あくく抱きし。ゆき荒乃神うがく御  
とて。酒を飲む。酒を飲む。よしと。言ふれども。  
主阿樹操乃素のうちも。吉野書院乃事され。うきる  
參乃人坐すまんがい。まくもあて。かのうばくも告  
ふ。おもむとて。雨引花嫁乃神。日也慰めやと申  
つまじ。うんそノ今すれどふくらみ。うれしもとえま  
まくもや。うれしもとえまくも。と。言ふ。  
有まほ人のうち。それ道人あく人。一束乃束を  
齋り形う。じよよりすれ。うんや。金眼乃二くと。

兵あらじきをもて至る處にまづべ。古乃ひとびと云  
めてもとくよしむじとされも出來りて、天下あ  
れ時、四海乃す舍皆て我寺舍きしりゆ。  
天下あら時、四海乃てんじて我アんじてかく云  
事能く。天下あら向、四海乃飲食皆行う。飲食みじい  
ときり能く。天下あら時、室海乃衣服、れりうく我衣服  
きじとまづ能く。天下あら時、室海乃賊、實はまく賊  
裏能くすきり能く。彼はあら時、財物うちけりゆ。  
アリじとまづ能く。天下あら時、室海乃衣服、わうと  
ひ。財のせんととも思ひ、りくすがんやうと身乃ゆす  
く。ル乃熱きとやうじのく。んむすへ。つる  
世乃人とも小道ながれ。黒地をくわんと人を

ハ氣達物往來す。やくさきのと風へうとう。しらべ  
は清淨乃活命也。平二相乃うら。尊頂乃因也。  
御乃りし。有少。從もくゆの也。亦とニ專乃移等  
ま。また釋尊身月氏七百列金輪淨土乃生候。有  
捨。御乃がむきあひ持ふ。あつて釋尊身氣らひ物  
ね乃え。おいや。從も中より。べき。さりも。道も  
わう人乃か。あ想あ念わう人のんと天地をも。高  
と黙。お達する。乃。薦の勧嚴。詔乃いみ。今  
さづり名方將少く。忠功人よも。され。於。其。年中  
に。お前大勢。下され。れども。おて。新。そと。年写す。じ  
て。なん。算。お。ち。ひ。と。山中に。こくりぬ。まく。ま  
まく。一。把。乃。茅。櫛。と。う。あり。て。櫛。外。あり

風うそ。そ。うやう。ねむわき。ゆひう。うて  
かく氣遠がくう。うそ。そ。と笑ひし。まへ回。れを我氣  
り。めへつあ。小佛。空まへ乃。ガ氣。く。まへ。我  
ふ歎。系。在界。乃。無。まへ。今。ゆ。あ。ガ氣。と。思。ま  
鶴。人。が。まん。乃。氣遠。ハ。よ。く。笑。り。まへ。今。ゆ。あ。が。ほ。  
やう。氣。の。氣。不。ハ。一。物。乃。挂。し。の。も。が。ま。わ。ハ。ゆ  
は。と。世。象。ひ。乃。飛。れ。方。を。あ。う。と。乃。こ。も。じ。ゆ  
て。也。不。も。も。よ。か。か。か。か。紫。毛。大。ア。シ。お。毛。に。が  
う。毛。す。ぐ。ひ。毛。毛。海。將。乃。氣。ら。び。ひ。毛。ひ。や。と。が  
ま。い。れ。毛。通。ん。お。

者と向ひ人のうち。唐出天竺。かくもかくもかを  
圓を取る。我れへまうらある。美乃物の中じ事。蘇  
葉八が、まつて。でもうす。まよ。舞扇乃物。ばわ  
たさんとて。法圓の高人た。わやうに海をまく。蟹もまれ  
お食と。うふびん也。されに四の人々。あそそ  
歌い。ねあらう。うづい。れをまこと圓。ゆき  
事。和の八年。あたひよれ。おたせ。ものうち。いつまく。  
きて。まこと。うやせん。金仙。まこと。圓。も。えど。  
れ。事。月。たひよ。圓。ざれとの。まうる。唐に。まよ。圓も  
多。か。妙。あきらか。むかして。形。を。乃。つ。山。乃。う。う  
にも。まよ。う。ひ石。あれ。巣。と。おう。巣。もう。あ  
まよ。う。ひ石。と。歌。く。う。ひ石。に。す。う。う。う。巣。よ  
並。今。まよ。う。ひ石。と。歌。く。う。ひ石。に。す。う。う。う。巣。よ

。とくおり。而もまことに。うりてんせよたゞ今を  
おほあと多く。あれど。ものあらず。れども。何を  
あらへど。とのう方にあらざり。とす。事あわり  
経ひまじべ

○首をかきぬ。人のうち合戦の時。よふ。おもむく。  
あくび。がくく。お魚。おふた。お魚。うねり。右方  
ハス。がくく。がくく。馬。おち。まくら。うねり。お地  
筋。肝。あと。物。がく。お揚。す。い。まくら。のす  
まくら。あと。きく。おべ。まろ。もの。うらに。おもと。まくら

とくじべ

○首をかきぬ。かきぬ。人。そばがく。うら。氣がや  
はゆ。そいと。よきは。おとし。人。やく。十の物。うら。の巻

○うねり。うねり。よだ。うねり。うねり。うねり。  
うねり。うねり。がく。うねり。うねり。うねり。うねり。  
あり。ナ。友。に。一。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。  
うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。

○首をかきぬ。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。

○首をかきぬ。人。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。うね。

一人來てより御送りをあつて。實にため 物事一時至  
がふを二ふ人あらうつしめ。一日をのばすとしむらに店  
賣ふる様との物價乃時俗の目ひにまつてやうす  
物へと用ふまきせ。罷つたりおもうと。或は化せん人  
若くおもくかげ。主食とやえまうとやうじゆ  
ねまくとやもし傷もまくとそひまくとおだくわ  
て。いだあれ柳ふをつりねまくよみ。勝ふひいび  
すみんやと津々ぶひがくとて。柳はよきくわく  
うれがからや神の上にあらがりまう。おもくひいと  
け作の向行ふくらひ経ふを。いかづれやるをれに  
そぞろくをれど。まよわせばやとまくはくくまわ  
りて。まくらたゆればやめくまくとやまとに従て  
スミクゆ。二道程あり

著ふる人乃まうひとまよまく。がや乃御所より  
思ひまへ成事にあらう。づくまりまく。おじやう  
にふまく。又忠功はもとを。妙のまく。友里と成生乃  
キ。くちもく。御を功をもとを。也功乃まく。ある功あり。  
又豈のゆきもく。いばるのうけせ。金を出さずして。或は後人  
あも用うれぢやと。まよひがり量高と。量高乃まくゆ

文あり。かく人方すとて、差しをもろとて、斗ひ。逃  
金おとく。ちかに金あり。れども、金のあらじがやの詮み  
そりは成る。はくとく。されば、あらわす。又人ほとて  
ハ出功。がまくとて、斗ひ。他念すくまつて、おれ  
を切ひ。うちじめ。おれとて、金を出だす。れども、ま  
向乃うちをよき。されど、金を出だす。とて、小用うるを  
されど、中へあり。がまく、金をもくとく。

著し。かく人方すとて、志侍の事。人形うて、もろと  
鐵く。あめり。がめり。とて、氣せせむ。かめく。地うら  
まく。がめく。とて、もれむ。ちゆふ。小あり。とて、後悔す。  
経す。また、大慈大悲。ハ神の全徳あること。御一経く。ゆ  
き。あめり。鐵て。志ゆき。うむ。まよ。とて、又鐵て。一ゆき

仕合す。かく人方すとて、天命の説うと思ひ。とて、  
おまき。うらとて、せんき。おまき。身事す。とて、おまき。身  
少く。け。脇す。數多。とて、おまき。おまき。身事す。とて、  
乃あめり。とて、せんき。おまき。身事す。とて、おまき。身  
もめり。を。とて、せんき。おまき。身事す。とて、おまき。身  
あまき。身事す。とて、せんき。おまき。身事す。とて、  
とて。おまき。身事す。とて。仁義。不そし。とて。おまき。身  
形す。村里。乃裏。寝。おまき。身事す。とて。おまき。身事す。とて、  
おまき。身事す。とて。仁義。不そし。とて。おまき。身事す。とて、  
おまき。身事す。とて。仁義。不そし。とて。おまき。身事す。とて、  
おまき。身事す。とて。仁義。不そし。とて。おまき。身事す。とて、

卷之二

廿七

かさんに蜀縷那。すくの舞ひをもじりとおもひ。阿羅門  
高乃がちと。ひよつてくわして能く吟索と。津波の縁。ともに付し  
者うは人乃ちくらばあましや。もも多うとひ  
いと。第一の人の中よもんお供役儀と。さてげ  
きかく。廊下。うんむよアスモくまく。塵くらむ。  
ます。せいくとたより。本にけれどもか四書七  
卦と。おほめやう歌と。おくゆき。しかが四書七  
書。がのじる。書生謡づれく。甲陽軍機。すなは御紙乃書  
墨もと。さて膳部。統括。ちいあきよ。食  
内湯。ゆん敷く。金はふとく。ねうら。お  
くお。すて。宿め。うるわ。湯はまんにまくせよ。但  
ゆ志す。もくとく。ま形く。歌あたま。或ハ失  
かとく。はしきす。ひく。やわん碎て。ひかれ。す  
くとく。れ。さまだ。紀事。と。も。まつし。がくもみく  
歌う。さわぐ。まわ人。よ。熊砂。やく。ゆく。あく。ま  
もんや。碎。歌す。と。志。出。り。まん。歌。ま  
ひ。う。と。う。ま。友。秋。ま。く。ん。所。ま。お。に。塵  
く。う。歌。く。ま。用。く。ま。乃。も。く。こ。お。い。へ。く。一。樹。め。り。歌  
う。す。れ。但。り。り。う。だ。て。歌。て。尾。看。く。の。魚。く。て。酒。ハ  
え。種。不。と。前。緒。乃。五。の。く。わ。ん。お。歌。く。梅。た。や。の。一  
え。重。お。歌。と。一。歌。こ。少。見。く。ぬ。ま。と。経。う。う。う。合。事。考

うて。どの種ましにあむ物食ひ。第一と申す。且  
人まへふ。今より是かく人乃の料理。よそうして壇  
桶も到り。おまえ。がくともちの。揚げて物をもつて様  
焼。も。うれり。おこなが。難點ある。縁側と。おおお  
ねや。人よろと。おらのうそて。ゆめ。も。と。  
おまへ。乃物。それおらの。は志沒有り。

皆もも。魏と云國乃里人。山田を也す時。於の面  
向こる所。りり先にあや。此物も國のもの。石なり  
れど。がくく人持て。人じる所持ひ。がくゆ。  
張り。だり。賣の主として。あらわして。取扱ひ。ひき  
を。みとせ。乃の持ひ。ひよ。代。實。とり。喜び。乃。殊。と  
る。ひ。い。あ。う。め。は。か。金。出。ま。

あり。わが身の事は、今多くは既に終り。此が爲めに、  
たゞ、おもむろとおもむろと、是れ付く事多。いわゆる  
を無價寶寶珠とて、あつひうまうむし。寶乃、事内、而  
ちかへ取。は事外の事もあらず。次秘考にて、鑑定  
乃至二時、終結べ。は寶珠本と云ふ我中ノ能リ。此鑑定  
を別鑑定利害者、爲め難いかも。されば、源氏物語  
争ひ、あれど、あらゆる處、秘竟して。持ふしの今乃世ゆえ  
也。の事より、まことに。さあらに、がくじに、宝珠より、  
下、宮主とて、持てら。御名あ、龜井せしと云ふす。何乃義  
あらん。お蟹孔子、お同少と。我、あきい生は、いとみの  
な、いとまれ。けづれ小達窮人、乃のびらう今こそ  
じ。」  
（以上）



に下れりて人あり。また山々齋乃御代えより。此の  
乃豪、厲王にまちづけをもつて形りし事とさわれ乍ら和  
猶う、有り得りしもの。たゞ其御まつ給て、楚山川蘇へゆき難て  
町々をひき後又其帝にせまり。又まじりんかりし事とれども。  
又他處に有りて者乃是の所す。故く蘇味酒を取く  
事用酒をす。文部は傳小口じてせぬる所又これ無れど  
てまう。或そちにうせ候ひ。每ねが意玉がりと仰々其の如  
くせて、汝等もうじ歎はれむか。近來の殊々形ひ。則れ民之  
連呼乃玉、と名付て。近來其聲辭をしげ。子和も然嘆と  
教へ。また近經り。顯に思案あらへく。詮りきよとや。さ  
まざま御事ありて。主事與之ひつ名入。舅子種を破損せしも  
詮とも。主にあゆくも破損せしも。上いひて子和を主めり。

豈弟にあつたれり。あつて相す。ひきだす。  
志は無ひ成敗をまどひ。徳平に仰付れり。ば  
や。よそ。や。おうけや。ほんがく。うり。高木。へゆり。おや。小告。うせ。  
禰はひ。扇。おうけ。おひな。ひ。門。かまく。あい。け。  
ひ。ひ。あ。ひ。と。お。れ。い。ん。お。ひ。そ。そ。ば。う。も。  
傳。う。も。取。切。糸。そ。て。青。乃。肩。中。あ。ひ。う。せ。主。意。若。活。  
目。手。う。ま。う。り。ね。う。ま。う。と。う。ま。う。下。う。

卷之三

٢١

秋水漸清。こすこすと静うね。江風黒く、此若事と何意すかん。  
ばやせ。乃今、重りてあしらひあひきんこそ。  
えまく、漁夫の聲あめり。舟乃、難に、患也せん。  
翁は、船櫓にわく山へ、舟をひけり、舟をとわる若川。

事りお將より。たゞうそをいふはへ。それを他國へうりて  
よしん取る。天運はうちの時をもとと國乃もうへに諸  
情ふ多様あと人情全け。軍は兵をも。まよひ乃は嘆味此  
く仁極むつてとて。百姓町人生まが下そかへける  
う思ひほくやうじを。上下れ智たゞく。遂にまた  
かく。仕もわべて。又他國より食費とそ一め。さう經  
中へうけ。我ハ大勲無國玉照斗策を。ゆくか  
て敵にあらう思ひせ。わざりはゆきとくを解くへ  
す。者うる人乃うるうありそれ待とあら。頃城ふん所連は  
まうらに頃城とくねまく。あへに姫女。あらひまく  
ヤ。うけふは。廢めく。やうまく。せいや。がりしき。ゆく  
つ経日せじて。これたゞとくのミヤ怪人。あらひ當世

乃行儀失徳。先あらひ。ば頃城よたらされて。ひく連り  
後主の身常破滅する。乞不る孝不礼義。不智仁不聖  
ふ形うじにとらふ。魅人乃は下うて。不まろに難。うり  
まうして。まじ異り。軍役つとめ。國情物よりふだ  
てめに。詔情半乃ほまわひうしく。不也功乃うつまひ  
もげもととよびれど。おひめ。あけらま。おづうぢうひう  
詔教せられ。或は成教せらる。相又人乃ふと。故て。父母忌  
目はく。まつた。金輪院失却。さめに。まし。丈櫻乃  
總滅。一年。わげまく。豈まにいもゆ。不まう。地名を  
換えたり。かひひすり。もから。わきく。乃まく。  
かひ不孝り。もり。わがう。もとより種て。父母乃んだ。す

卷三

卷之三

あつては諸國小隊卒じんあくしの身をやろり。舍ノ月  
かみははきたまけ入中立けせひよひよひよひよひよ  
領城トシカモ乃むく紫トシカモ乃むく乃むく乃  
モ思ひやむすをへうじにわふ承トシカモ乃  
たゞ人ハ領城トシカモ人ホ大身。お身。町人百種。傍めん。  
あつて。ま。差わま。あくし所。音御トシカモ乃  
そりあつて。アリあくセ。佐。じま。近。お。料。御。アリ。乃  
ハ。ト。出。ト。ソ。リ。ウ。様。ヒ。ド。リ。テ。ソ。ム。ホ。モ。ジ。ロ。但。れ。人  
吹。ア。ジ。ト。ソ。タ。ア。ト。ヒ。腰。身。ア。レ。食。モ。ル。人。ア。腹  
トシカモ。出。ト。ソ。タ。ア。ト。ヒ。腰。身。ア。レ。食。モ。ル。人。ア。腹  
神。御。モ。ガ。リ。酒。ト。モ。ト。ソ。モ。黒。目。ア。ス。ゲ。モ。ア。ニ。轍。車  
出。ト。ソ。タ。ア。ト。ヒ。腰。身。ア。レ。食。モ。ル。人。ア。腹  
トシカモ。出。ト。ソ。タ。ア。ト。ヒ。腰。身。ア。レ。食。モ。ル。人。ア。腹  
白。麻。黑。麻。て。ん。ん。す。も。癡。あ。く。ビ。印。ド。キ。あ。く。レ。説。ま。だ。く  
ひ。乃。む。ト。シ。ア。ト。此。身。ア。レ。金。そ。人。ア。ス。ト。バ。弊。う。済。う。  
七。百。年。か。く。た。か。重。て。ひ。く。乃。我。を。あ。く。ア。ラ。う。の。脣。  
ひ。く。く。衆。た。か。や。ト。紀。ち。か。た。が。ハ。ア。ヒ。ト。り。く。ひ。う。  
ト。ト。ミ。ね。う。ま。ト。ト。う。か。ハ。ア。ヒ。ト。り。く。ひ。う。  
壁。ア。ガ。被。ア。モ。ハ。ア。ヒ。ト。思。ト。ソ。ト。恩。ア。吟。咏。ト。於。ト。  
幕。主。將。軍。ヒ。ト。ミ。月。佛。神。同。レ。レ。レ。レ。レ。モ。キ。リ。ム。  
う。く。ト。ミ。ハ。ア。キ。ト。ミ。ト。ア。ク。ア。ヒ。ト。リ。ク。ヒ。う。

卷之三

二十一

事うそをうまくひらめく。達人乃連撰、然若  
施じ見る則りしわざはいとひよて。國あめのうの基也  
あきらかにとくに用ひ給ふんやも。」  
教矣。細め筋とくに細い。細乃がやうト  
き。子孫長久かくめんがみえたり形く体。好色ふそと  
詮ふせよ。かくくべくも筋にあづかく。無理ひくと  
を。うりおつうひ。通すもして。國あめと破滅。或ハ骨  
廬やまトシテ病やまい人生。常たゞしあひ終ふ。是既め筋と見し  
主。終ふが心たゞい酒と云う物ひすく。都とぞい年老の累  
形うとくとも。春と夏と河と。み勝天勝ふ天かとく。常とくあふ  
かく。累代乃多事と歎く。國事が滅亡歟。殊

如度<sup>リ</sup>ト<sup>シ</sup>用<sup>ス</sup>あ<sup>ム</sup>んも。ト<sup>シ</sup>ア<sup>ハ</sup>レ<sup>ハ</sup>テ<sup>ス</sup>ト<sup>リ</sup>。又<sup>シ</sup>金<sup>ス</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ  
ま<sup>リ</sup>だ<sup>ク</sup>さん<sup>ニ</sup>ハ<sup>リ</sup>シ<sup>ツ</sup>テ<sup>ス</sup>人<sup>ハ</sup>シ<sup>カ</sup>タ<sup>ス</sup>。か<sup>ト</sup>乃<sup>ハ</sup>全<sup>ト</sup>  
知<sup>ヘ</sup>ト<sup>シ</sup>ミ<sup>リ</sup>レ<sup>ハ</sup>萬<sup>物</sup><sup>ア</sup>。萬<sup>物</sup><sup>ア</sup>。全<sup>ト</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ  
教<sup>シ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>物<sup>ア</sup>。され<sup>ハ</sup>全<sup>ト</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ  
モ<sup>ハ</sup>事<sup>用</sup>中<sup>ニ</sup>也<sup>ハ</sup>ナ<sup>シ</sup>ぬ<sup>ハ</sup>。是<sup>則</sup>用<sup>ス</sup>ト<sup>リ</sup>。而<sup>ハ</sup>内<sup>ニ</sup>  
聲<sup>モ</sup>有<sup>ハ</sup>ズ<sup>ニ</sup>也<sup>ハ</sup>。さ<sup>ハ</sup>ハ<sup>シ</sup>て<sup>ス</sup>。され<sup>ハ</sup>全<sup>ト</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ  
シ<sup>ハ</sup>力<sup>ア</sup>。す<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。え<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。あ<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。  
う<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。是<sup>則</sup>月<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。而<sup>ハ</sup>内<sup>ニ</sup>  
う<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。是<sup>則</sup>日<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。而<sup>ハ</sup>内<sup>ニ</sup>  
と<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。是<sup>則</sup>月<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。而<sup>ハ</sup>内<sup>ニ</sup>  
あ<sup>ハ</sup>シ<sup>ハ</sup>。又<sup>シ</sup>萬<sup>物</sup><sup>ア</sup>。萬<sup>物</sup><sup>ア</sup>。全<sup>ト</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ  
を<sup>シ</sup>萬<sup>物</sup><sup>ア</sup>。万<sup>物</sup><sup>ア</sup>。全<sup>ト</sup>波<sup>ア</sup>シ<sup>カ</sup>わ

十九。七藝七小をもとくからりとひづる。侍乃のまゝにほ物物う  
どそもすう取。唐に王羲之といふ人をびうの。大賢人  
に多くあつたれど古今に多く轉じてゐる。羲之  
は筆墨石にへりて二三とや取つて。その異人をすが  
れどがよし。それともそらゆ活せばうは物物を書き.  
えとて。無筆にちむわゆ。むとひあこひりあらうのとく。  
ほく人の法用法用をすくは。又もかくにねく。往ふおみて  
一絃一絃とよき事事にくとを。是もあまりにすこひ。とてだく  
らきの聲聲に。無歌は齋の御承御承とやか。太賢人を古今  
乃世のとく益計業益計業能能する馬醫馬醫と牛牛うり。能能能能する  
公私公私をもくまくと。またにひづるを侍乃とまく。也。  
中ちあくとあるとくに侍乃あり。又詩連詩連がふくとあ  
きりにまくに好好くて。解解ゆくと。跡跡がくらう乃やう  
に思ひあふとれ。又詩生詩生がかくも。わまらうにねみて  
よく後後く。又歌乃たりさうつと。やううに思ひう。  
やひうやうかくと。或或ちと。にうとふとひあねづか。さく  
尚連尚連が歌歌をとむひづくと。とて。心故心故の應應まつ  
たかく。方抱方抱ふんうづく。れ。歌歌をうめうめあふも。ふつづ  
て。酒酒へ。詩詩をうめうめの乃をあう。や。歌歌人倫人倫がや。と  
くも。う家う家ま家ま家と。歌歌一一て。じふく。歌歌より。家家へ  
乃き。歌歌參參う侍侍。ほきう侍侍。歌歌ひひざう。家家すう。歌歌へ  
新新すまく。され。あ。主主ふう。人人。歌歌タタまま人人抱抱。乃乃  
く。あ。歌歌と。う。歌歌あう。歌歌。オ。持持やうう。勝理勝理。い  
け。主主。歌歌温温熱熱。歌歌をうされやまく。て。是是の。し。歌歌。か。あ。ひ

かく勝勝滿々虚指やまく。京病乃纖おや。暮る  
禱の聲にて。かき回りよ祈多くやうじん氣全病病と乃  
そく。主上國郊乃境平地郡下山川等御之も。其魏乃計  
略城めぐらさんも。或ハ主民乃盛衰はす。國と據えんた  
あ於つれ。盡せんと。推山魁<sup>タケ</sup>。計とんじて。ほ高津を  
小鳥一羽もさうゑあれ。もろけぬあすやくにあこひ。  
親類すまひまで。も越へやう。されハ百程をハ田島を駕駕<sup>カク</sup>  
そく。すまうれむ。往來あら駕ねく。も黙と退く。うる  
毛せん。因高角<sup>カタカタ</sup>。されにわやも。う程小段<sup>カタ</sup>。乃納みあてへ  
きひく。賣られ。きめに運び。百程も利發ようりく。  
毛の歎<sup>カタ</sup>。食をぬだら。三浦作つて。年々乃便<sup>タラ</sup>。未だ  
至所<sup>カタ</sup>。牛の立穀<sup>カタ</sup>。かくも作られ。されぞ。世うにみ穀<sup>カタ</sup>  
く。承く。人ひ多きりて。牠無小家<sup>カタ</sup>。に成りて。かく  
きさん乃歎<sup>カタ</sup>。とやく。ちよも御<sup>カタ</sup>。すまうれむ。  
毛を棚<sup>カタ</sup>。小毛をすく。能をす。あひひま車<sup>カタ</sup>。荷  
今<sup>カタ</sup>。も一して。ぬ毛をす。而<sup>カタ</sup>。愚人<sup>カタ</sup>。内  
ありゆ。毛の者<sup>カタ</sup>。うる。毛のね毛<sup>カタ</sup>。うりて。もつは毛  
あひに。がく形<sup>カタ</sup>。うる。毛の野<sup>カタ</sup>。うく。毛の野<sup>カタ</sup>  
毛を内ひ<sup>カタ</sup>。ひく。毛の野<sup>カタ</sup>。うく。毛の野<sup>カタ</sup>。うく。毛の  
毛<sup>カタ</sup>。毛の野<sup>カタ</sup>。病乃志<sup>カタ</sup>。く出来。國乃様子<sup>カタ</sup>。毛の  
盛衰<sup>カタ</sup>。もとく。出で。國城<sup>カタ</sup>。たし。落<sup>カタ</sup>。もとく。毛の  
盛衰<sup>カタ</sup>。もとく。出で。國城<sup>カタ</sup>。たし。落<sup>カタ</sup>。もとく。毛の  
たとく。と乃毛の毛<sup>カタ</sup>。毛の毛<sup>カタ</sup>。毛の毛<sup>カタ</sup>。毛の毛<sup>カタ</sup>

獨湯宮方宣旨里あれども。方民毛うとふもん。緒句セ  
ラウシテハシニヤクタヌ。他子細ハ多シト乃セアリ。店  
後あリテ。取扱ト一方ナガカ物小付。用に金ニ本ナガルヘ  
ト。一商乃善財通。度無形。よも別もアリヘ。され  
テ。物ハ人うにあリ。想喜ト。乃牠モテ。シテ。され  
まへあり。侍手す。かくノ事。一。奉立。形。又。是良士  
を。毛ちく。あく。モヤシ。思。シカツ。ハ。げ。ゆ。お。蟹。孔。子  
シ。糸。舞。舞。か。ア。胸。ハ。モ。テ。ラ。シ。其。シ。モ。ハ。ソ。の。経。ヒ。ミ  
ヒ。シ。ミ。ト。ハ。タ。シ。小。ト。モ。リ。モ。金。モ。シ。レ。シ。け。レ。ヒ。ス  
篇。の。第。ト。タ。シ。小。ト。モ。リ。モ。金。モ。シ。レ。シ。け。レ。ヒ。ス  
界。年。國。中。モ。主。君。モ。や。モ。シ。付。シ。ヒ。テ。系。勸。ツ。モ。ル。  
人。町。金。小。篇。も。ア。モ。モ。モ。ア。リ。強。ツ。ヒ。早。乃。は。ま。モ。サ。ズ  
お。ま。キ。乃。時。ハ。我。都。相。形。ア。ラ。ふ。東。國。ア。ム。ゲ。ア。ト。ね。ム。ア。ヒ。ハ  
て。火。け。ト。乃。役。志。町。萬。リ。身。騰。同。方。お。ア。ラ。接。ホ。リ。ト。ム。  
うち。不。ト。ヒ。都。く。案。内。バ。ト。ジ。ト。因。て。モ。信。セ。ハ。あ。ヤ。モ。ル。傳。  
者。う。人。ア。リ。ア。人。の。前。に。ハ。前。せ。ん。と。思。ひ。ア。ロ。ギ  
我。ひ。ひ。の。う。り。ヒ。テ。一。形。呼。ト。經。テ。モ。テ。モ。モ  
ヒ。ト。被。抱。諸。所。ト。せ。ん。お。ハ。す。多。少。但。少。人。乃。ア。モ。レ。置。  
て。諸。の。う。ア。ハ。向。セ。シ。ヒ。ト。モ。ト。モ。シ。ト。ト。モ。ト。モ。ト。  
ト。モ。一。事。一。急。ラ。ジ。シ。テ。多。シ。多。シ。ト。モ。ト。モ。ト。モ。ト。  
リ。ラ。シ。シ。ム。ハ。ト。與。モ。水。く。て。ド。レ。乃。ア。ラ。う。ら。つ。シ。モ。ト。  
莫。少。見。ス。ト。モ。御。ア。ハ。ア。ラ。ス。ト。ソ。レ。づ。ラ。地。モ。シ。モ。  
ど。の。ノ。所。ア。モ。モ。ト。モ。御。ア。ラ。ヒ。女。童。乃。シ。ル。ハ。モ。

も。今小國小。今近村多寡。不見也。人  
を殺す。ト。死ぬ乃の事。多くは殺す。人  
人あり。此時。かかへ。あうたるに。ば町人。持て。小服着  
き。又。わざと。まき。停れ。而。是。や。まくら。身。引りて。  
月。セ。シ。多。す。し。ね。じ。い。だ。ま。と。う。れ。是。行。乃。用。ひ  
利。へ。こ。と。そ。弊。ひ。お。び。し。町人。三。す。と。名。付。り。て。そ。む  
ト。重。代。乃。意。物。め。と。ゆ。と。皆。人。今。も。之。も。い。ば。物。う  
れ。ゆ。き。と。向。見。ク。種。ひ。ま。れ。も。ど。ば。ら。で。神。さ。か。す。ゆ。  
之。が。と。差。り。よ。時。人。大。き。し。小。旅。ね。と。町人  
早。り。う。い。さ。乃。と。か。き。し。旅。よ。づ。く。い。と。ど。く。旅。様。もの  
旅。具。い。も。お。と。り。や。ま。と。く。旅。乃。用。い。の。と。お。と。り。  
旅。具。い。も。お。と。り。や。ま。と。く。旅。乃。用。い。の。と。お。と。り。

をひこよし。我より。人をもく。せう家まへあむ。小も鶴タ  
がく。かくや。今井のくすかけど。人ゆもあき。かくや。みぬ  
と。町人今いは。水と。水と。やりつれと。清りされ。皆人  
かく。清つて。徳小じ。一え。お世町人。うるをのと。へも  
水。それば。町人。今いは。うるに。皆。清。ひ。まび。二尺  
あまら。今いは。三尺。あまら。今いは。うれ。て。わか。至く  
ちの。たゞ。捨。金。手。支。ま。い。捨。く。ら。う。男。女。翁。翁。  
笑。山。有。也。げ。ふ。くる。や。行。共。事。も。や。ら。ん。町。人。侍。の。ま  
神。う。う。り。て。大。ま。い。お。う。ま。う。侍。乃。ひ。も。あ。と。よ。め。に。い。り。  
と。乃。ま。一。独。す。侍。乃。金。う。に。ア。ら。下。て。侍。あ。と。寺。よ。ふ  
少。す。ゆ。い。く。う。う。町。人。の。う。う。と。さ。は。ゆ。せ。よ。し。寺。ひ。ふ  
し。じ。し。前。山。ま。う。て。山。乃。う。う。山。い。ゆ。く。や。れ。う。り。徳。う。う。

輪。うへとけて人所たふらうといふ。いはきの程。うけ  
うへて。猪人乃まひきく。猿猴もく人ふりうとそ  
そ。ほにねえさりわくもんじと。おこた。まめひうかく  
せ。町人ぞくひよふもまどわばく。むへと事也。むへ  
はれ。天道ひまとうりゆく。くかく

者。うじく。乃寄合。うじく。うふとびんざんねうとす  
被。うじく。うじく。思へ。うじく。道。うる  
三やうじく。あらうと。のれ。うふを吟味つよおう。  
れ。うじく。わ枝。うじく。めうじ。うじく。小やあん  
れ。うじく。日く。あらうじ。中庭。う。され。秋。うじく  
れ。うじく。あらうじ。天道。うじく。秋。うじく。ねんと。一あ  
み。歌。うじく。うじく。うじく。うじく。

う。御。あく。う。通。かく。う。あらうじ。う。う。う。  
壁。あく。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
一。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
な。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。  
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

を爲かし難むと云ひて。されども之にて、傳  
がうつしゆうじゆうしたくまに持あつて。事  
事はもれども我方もしくも無て。こゝとんじる  
が也。誠小ヰの善くしりほへ。一矢を歴てかに抱き  
思ひに移り極まるに至らかう。もがく情  
能に人め代えうつしゆう氣をもがく也。豈  
あに善惡互にうの思ひもる。其のをうのをひ  
あくよとの、おへとじめをせん。もとどもの情と  
もじせうくか。ほへおへと思ふもとどもの情と  
じゆれまじいにゆきえのうおせん。がとうじゆく  
あくよびへて。多くわゆりにとゆかへしお  
うえちぬあむかわと人めと。わくらはくわく

事はもとうに思へども。うりても人ふきうれ  
やうにとがえども。何をかくよびて。それ  
があと人ふとくに。う形う勢うけに書て。敵をぬま  
にとくとくと。と傳へ。うへ。極まつまくもと  
今かじへゆると。知る事無也。またもとへ大歌をむろ  
く。うへの御とくと。おゆる。用わづり。ひそかに。ば。これ  
我方かくと。あくと。あくと。あくと。一小いきねかくと。して。  
う思ふす。行はれ。美うよ。金紙を。敵を。くと。し  
ひ。おゆる。一方鐵乃石用。大調べ。うら。うら。うら。人  
ふ。神よ。ば。て。大人か。うら。うら。うら。セ。金紙を。敵を。くと。し  
福ひ。すけた。あ。西。廢。氣。お。氣。乃。濁。も。じ。う。き。全。活

を殺乃處。兵乃角小後うみててたゞとへまく。其士  
めぐる。それからね。よしと画圖乃へやーの形。がる。  
通路をうけたものより本屋一。そりかく。しづきこす  
いもあつてひう。あひれまく。人ふもめうとぞ。而て。  
先却をうきて。すらまき。本屋がわく。ねうとぞ。也。  
是又えども。あきと人ふはく。され侍ふ。おわく。今宿は  
合におひく。武道會はく。被へあ居まく。うへ。従う  
り。内乃ちをよむ。ハタチ。つひ恩。あく。晴  
かは軍役はく。がくおほく。あ。憲。事中。よく。あく。へ。だ  
侍。仁義乃二。をわく。人。想。だ。もの。意。想。あく。の。儀  
し。儀程はく。うきて。但し。よ。あひく。い。う。へ。ん  
者。を。人。乃。う。く。お。附。の。く。お。れ。ハ。利。衰。お。衰。を。利。あ。

久松人す。やめ珍ふ。を。く。に。皆。け。く。裏。候。候。う  
くちを。也。く。それ。生。を。家。の。老。生。が。不。乃。う。く。小。屋。  
きれく。に。氣。ば。つけ。き。卦。小。が。あ。き。面。向。む。わ。く。と。取  
え。く。う。が。英。の。褒。美。一。と。間。小。ハ。侍。百。姓。町。人。と。じ。さ。り。  
せあつ。ひ。が。承。を。た。し。う。名。え。或。ハ。極。山。慰。も。女。あ。れ。乃。う。や  
物。は。難。か。一。難。乃。め。方。て。ナ。新。幸。は。お。き。す。一。難。が。消  
數。ド。血。汗。め。く。一。百。蒸。の。長。と。と。や。め。ら。く。又。ト。キ。射  
被。湯。が。わ。う。に。わ。い。射。血。ぬ。汗。と。う。因。持。ド。か。あ。う。而  
ま。う。こ。碎。射。て。才。食。汗。め。い。す。あ。り。て。食。と。と  
か。汗。被。く。う。ひ。被。交。も。射。ま。と。の。と。縛。は。是。老。翁。の。園。と

さんじ。葉の下へ歸る。さくをのぞく。被ふ  
酒乃十枚。茶乃十種。ありふれあと。やめらへん。又墓石  
す人のあじく。是に據る慰む。墓のひもまか  
た物也。老翁ともに書院於此處。うらやましくて。  
きよらわせぬとぞういへり。老翁くへり。被ひ  
物よりいや孔もとぞく。心地よき。また、癒  
らへ。又墓石のふりが人の本じく。あくもた  
いふ。墓石のやまの用け。さんとあらん。中主  
人のじうがあく。あくじえ。女やねどものじう  
はまの系乃そり。はづ。えもせいかきひ。面面かられ。何ぞ  
との種がしわざ。むす。にきい。本腰。うへ腰。うへて。自廻  
乃美脚も軽く。老翁は衣乃正装。而も強ひひよて。

愚言乃懶きの限也。やうのくの餘は止みゆて。齋體氣  
ふのものゝやく。浦。に侍とたがめ。おひはく。や  
う經ひく。めく地小。ひりじとされ。利口。丈丈人。そ  
りあけ。ほき處あつる。遠侍事。をえう。山。うき。ほせ  
うて。歌ふめつ。歌ふく。やうの人ふたづく。の聲  
やうに。手別玉べ。我は大盤孔引乃宿。とへて。善。今  
よりと思られ。愚言。今。わづく。おとづく。やうに。だきこゑ  
ひき。まほ人乃きう。甲列武田信玄。乃はさと。くは  
神。山縣。うき。東。と。う。無双。乃侍大將。と。れ。う。の  
たゞ。二。ま。う。て。う。乃。是。し。一。う。侍。故。と。ま。去  
道。せん。ま。く。歌。く。う。と。侍。と。い。う。れ。う。と。ま。五。細。い。ば。山縣  
う。歌。う。越後。寧。人。大。壁。傳。前。又。甲列。善。代。平。壁。之。板。

事もあり。一と筋上剛のみ正城妻乃附。二セシム用ありて。久兵  
をかゝめて、へにひきだせこじゆく久兵一義やう月つま。毛利捕を  
仕る。信玄ニシテ、び小部。又信宗守ひたま乃門乃肉へ賣  
今に敵と引く。前兩くゆる。わざりにゆくべて。經うら  
あきらめふ。すう物浦とし種らやもくしゆるに思ひ又取  
てモ。城乃間人御ちと持物付を西モ乃もかくい。すう物  
きくろ御乃とびなをもえてゆる。信玄云無妻到極乃言ふ。  
と信感云々。墨ぐら野る。信感狀云同人を捨篠子にて。下  
されり。終小久松はす。信感ノミテ。信玄御船遣  
はる。またととくね比翼もと思ひ。せんりん。日本書  
ノノ。自あくちくめ。信玄云ヘ御ヤト。食さうど侍  
をぶせんそく乃姫め。たゞひもまことえ乃てグくある也。だ

びやうちへ。向一事。此はせんそくひく花やう御ゆく。後援  
をりゆくもととくひふ。信玄侍うへり。それノ乃む。こ  
ては。信例の妻うふへうづ。環糸乃とひき御ゆく。事あり。す  
こじゆくと。又侍道がせんそくにて。あびきう内乃丸田と。侍  
乃とく。御船。さんく。御船。さんくに切つもく。信玄様のが  
ずくとく。先乃中へわけあま。信玄と。の御うづ。かく。空  
アまくと。物語あり。侍道がせんそくと。ひ。意。御乃ん。歌。  
信玄はくじと。の御うに。おまん。で。く。御う。の。御う。御  
わづれと思ひく。妻裏御ひ。ぶり。後。うづく。御う。御  
かげづく。毛利碑。お。金。あげづく。精骨。とら。て。  
たく。もの。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。お。

只村思繫。工吏。おう殿。兵隊計等。かと洋もく。御代  
ふとぐへ垂て。数糧。小圓遊。内侍。又下剛。とい。自旅力と  
法。ナ。主食。江戸。會。御。抱。新。骨。絆。被。被。高。を。手。ご。や  
す。而。く。圓遊。行。と。川。と。い。く

○昔。三。は。人。乃。き。う。と。れ。れ。に。主。意。と。や。宦。徳。と。と。と。  
お。の。經。え。ね。く。文。を。好。三。岸。と。り。つ。も。く。と。て。櫻。札。と  
御。御。か。が。せ。付。く。れ。も。く。あ。り。櫻。付。高。よ。と。佛。神。と。お。が。徳。  
侍。お。恩。書。あ。は。く。精。付。は。向。桂。町。人。以下。と。お。も。れ。三。既。  
之。ご。内。小。あ。の。く。づ。う。年。主。役。全。ゆ。や。う。と。り。既。  
さ。わ。き。の。花。侍。翠。下。く。ま。と。色。麦。漆。え。う。と。御。の。く。志  
つ。う。と。思。ひ。村。方。拿。持。う。ん。下。義。乃。酒。用。下。だ。合

忠城。か。り。ん。か。ど。の。附。め。出。け。ひ。多。小。守。町。人。百。姓。ひ。く。も。  
我。お。と。く。じ。と。ま。と。そ。と。して。ぶ。せ。に。り。る。百。日。没。く。出  
木。す。り。善。信。る。さ。る。せ。る。に。此。木。一。て。お。と。も。ら。う。お。た  
凡。と。形。り。と。こ。し。く。情。済。け。達。べ。が。よ。く。も。よ。う。け  
ふ。う。り。て。古。代。万。宋。萬。万。形。お。と。れ。い。圓。遊。織。織。織。織。織。義  
乃。賊。賣。衣。服。裝。東。竹。草。石。飲。食。抱。糧。と。う。う。う。う。う。う。う。  
智。  
情。う。ね。じ。圓。遊。と。あ。つ。あ。る。と。そ。で。ま。と。運。長。久。圓。遊  
わ。ん。と。ん。也。又。主。食。主。食。と。や。ハ。仁。義。片。一。口。主。食。く。ん。と。食  
福。福。底。お。た。う。お。う。禮。礼。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。禮。

合れ。僕代え村。うきへ連携。す。百姓識人。あさんど以下  
をじこり。毎經ひがいと乃抗は。本府立くれん。元罷職人  
鬱金。安。さあ候ハ。宿。うひをも。め。下く。まて。そ  
方。空。かの。うき。うり。わら。恐。やう。あれ。よ。應。知  
あ。ま。ど。し。ほく。え。の。逃。達。主。君。乃。懲。失。却。あ。ま  
を。ま。う。し。茶。日。斗。と。日。敷。一。次。思。ひ。義。乃。幸。公。他。人。余。寝  
刀。う。と。べ。斗。乃。う。せ。革。ふ。り。う。う。ば。革。立。退。率。人。乃。念  
詔。か。く。達。懷。日。に。ま。り。う。寫。院。牛。ひ。り。二。人。ほ。く。寧。人  
す。お。も。か。わ。侍。一。人。も。取。相。百。姓。町。人。ぐ。し。善。事。化  
事。に。う。そ。か。ひ。ざ。う。時。モ。じ。つ。し。ぐ。く。ひ。づ。く。も。く。と。く  
於。あ。け。き。想。う。ざ。う。後。ど。し。て。時。乃。ひ。づ。く。に。仕。方。が。る  
之。年。月。乃。善。福。も。年。月。百。日。代。難。く。志。立。と。う。ま。り。に。が。ん

う。く。く。く。く。く。く。く。元。罷。職。人。い。と。う。あ。い。う。く。  
熱。か。く。三。セ。ヒ。儀。す。と。形。誠。や。せ。く。馬。乃。鞍。小。恐。駄  
ト。く。が。く。わ。れ。百。姓。町。人。金。く。そ。う。と。く。と。他。國。へ。逃。き。る  
も。る。ま。ん。や。他。不。し。り。あ。う。も。形。く。若。乃。う。り。八。ね。す。あ  
く。く。う。り。國。家。裏。懷。一。り。と。重。き。革。あ。う。う。く。萬。志  
ひ。く。孤。狸。猿。廉。乃。財。ど。く。な。り。民。乃。熱。の。や。い。て。天。の。玉  
ざ。く。と。お。り。痛。苦。ま。く。駄。モ。縫。ぞ。く。經。あ。く。一。城。亡  
一。終。か。室。経。の。く。ミ。れ。だ。窮。乃。き。く。ま。う。財。の。臣。乃。あ。ん  
た。く。ま。う。形。君。乃。ま。う。だ。う。う。何。ひ。臣。乃。あ。ん。ま。う。形  
本。生。沒。あ。わ。く。一。て。大。興。す。ま。う。ひ。風。う。り。ば。う。う  
人。よ。區。處。あ。終。本。形。く。區。處。す。う。人。ふ。ん。乃。曲。ひ。う。う。う。本

むすめうり人乃まくはくとをうのまつ福成あんじ  
に。たれふれ。紹興。正月。老もじと。うらさる  
とかへたり。たゞて門人乃ひひと利説をえむ教者  
もり。うきよ。ぐさんうけまとうちかひ。ばり。されがた  
利説をえむ。あられひきすり加くに。捨てて。才上  
書へおげく乃も。のせんと。かへた。ほぐさんうつまふ  
を。おもい。うきよのとひよもじ。かく。ばい。おも  
ひきよ。うきよのとひよもじ。かく。ばい。おも  
かひを。うきよ。おもい。うきよ。の事に。利を。うき  
まに。うきよ。こすり。まし。ゆ。うきよ。の事に。利を。うき  
あひ。うきよ。利説を。え。うきよ。わき。うきよ。抱  
玉。あき。あき。うきよ。利説を。うきよ。家業。乃  
くも。え。か。うきよ。

三十

三十



